

市立幼稚園、農政審議会設置など 定例市議会 41議案を可決

新年度の市政の大綱をきめる定例市議会は、3月12日から開かれ、37年度一般会計予算案、市税賦課徴収条例の改正、幼稚園設置条例、農政審議会設置など41議案と、昭和35年度決算の認定について17日間にわたって慎重な審議が続けられ、28日それぞれ可決されました



なお議決事項は二面に掲載しました。(写真は施政方針を述べる市長)

今年度の重点施策

3月12日開会された定例市議会が森田市長は本年度の施政の方針として、懸案事項の実現と継続事業の完成にあたる決意をのべ、その重点的施策として次の5点を明らかにしました。

① 越美北線と電源開発事業を促進

市産業開発の基盤である越美北線の全線開通と、九頭竜水系の電源開発事業を積極的に促進し、当市産業界の活発な発展をはかる。

② 継続事業の完成

市政推進の基盤となるべき庁舎の建設、し尿処理場の建設、尚徳中学校(旧東部中学校)の建設などの完成に尽くす。

③ 災害復旧の早期完成

昨年は相次ぐ災害で、総額2億1千530余万円の巨額にのぼる被害を受けましたが、37年度は復旧2年度に当り復旧費は農林、土木合せて5千800万円

であり、94、95年度災害の残事業850余万円と合せ鋭意この完成に努め、早期完全復旧実現のため各関係方面に強力に要請する。

④ 第2次建設計画の策定と実現

諸般の情勢の進展にともない、新しい発展の転機にある当市をさらに飛躍発展せしめ、社会・厚生・福祉・衛生・文化・体育関係施設の充実と農林、商工業の経営の近代化と、所得の向上をはかるべく総合的な建設計画を策定し一日も早くその実現に移すよう、全力を尽くす。

⑤ 市民税の軽減

市の財政は必ずしも楽観を許さない事情にはありますが、税制度の一部を改正して、所得割の税率の引き下げと

発行
福井県大野市役所
電話(代)6-9600
編集
総務課広報係
印刷 松浦印刷所



昭和37年度一般会計予算 総額 6億5千4百69万円

昭和37年度当初予算は、36年度に比較して、1億7千668万円増で、市制以来最も大規模な予算となりました。これは災害の早期復旧と庁舎、し尿処理場、尚徳中学校(旧東部中学校)などの継続事業の完成をはじめ、市発展の基盤となる都市計画事業や教育施設の充実、商工業や農林業の振興対策が重点にとりあげられたためです。

財源面では消費的経費を極力節減し、投資的経費に振りあてられています。

(歳入)

- 1. 市税 2億286万8千円
おもなものは市民税の6千964万5千円、固定資産税の9千778万9千円、電気ガス、たばこ消費税の2千850万円です。
- 2. 地方交付税 1億円
- 3. 公営企業・財産収入 490万7千円
これは市営住宅の貸付料と市有財産の売払い代金です。

扶養親族控除額の引き上げをおこない、現実的に昨年比で1千万円の税負担の軽減をおこなう。

これら5つの重要施策を実現するため、財源の確保をはかり消費的経費は最少限におさえ、建設的の事業を重点的にとり上げて予算を編成しました。

4. 分担金 55万1千円

これは保育所の保育料と母子寮入居者の負担金です。

5. 使用料・手数料 545万2千500円

これは火葬場や、ことし完成するし尿処理場、幼稚園などの使用料145万9千100円、戸籍簿本・抄本をはじめ諸証明、人工授精、予防注射などの手数料999万9千400円です。

6. 国庫支出金 8千214万7千円

おもなものは生活保護費など福祉関係、拠出制国民年金の交付金などの国庫負担金2千609万円と、土木・教育・衛生関係費の補助金5千547万円などです。

7. 県支出金 2千695万2千900円

これは社会および労働施設費の県負担金と、各種補助金です。

8. 寄付金 3千855万4千円

これは尚徳中学校建設費の地元立替をはじめ、道路改修・災害復旧などの地元負担金です。

9. 雑収入 5千56万600円

おもなものは国民年金証紙売払い代金です。

10. 繰越金 2千万円

これは庁舎、し尿処理場、尚徳中学校、保育所の建設費をはじめ、農林土木関係の災害復旧費にあてるための借

入れ金です。

歳入合計 6億5千469万3千円
(歳出)

1. 議会費 1千61万1千円

2. 市役所費 1億6千584万円

おもなものは、人件費の6千989万円と庁舎建設費8千900万円です

3. 消防費 1千553万8千円

4. 土木費 8千749万1千円

これは前年度より3千205万4千円が増額されました。おもなものは、道路や橋の新設と補修費の1千841万円をはじめ、国鉄駅前広場の舗装、駅東線、本町線などの都市計画費の2千26万6千円、災害復旧費の4千万円、除雪用ブルドーザーの借料道路補修用の小型ダンプカーの購入費などです。

5. 教育費 8千167万円

これは、尚徳中学校第3期工事1千136万円、下庄中学校、若生子小学校の給食設備294万円をはじめ、教育諸施設の充実強化のための費用9千150万円阪谷、上庄に幼稚園を設置するために100万円、公民館費795万円、社会教育費、169万円、体育振興費110万円などで本年度より3千954万円の増となっています。

6. 社会・労働施設費 4千939万2千円

これは、生活保護費の2千456万円をはじめとする、福祉関係費と、保育所費303万円、国民年金事務費の450万円失業対策費の579万円と、ことし新しく保育所を建設するための費用504万5千円です。

7. 保健衛生費 4千663万円

これは、し尿処理場建設第2期工事および運営費3,419万円、環境衛生面の整備強化のためにごみ収集車の購入下水路の改修、簡易水道設置補助金など900万円、結核予防、伝染病予防などの予防衛生費999万円です。

8. 産業経済費 1億2千397万5千円

イ、商工業 5千252万円

これは、商工業の振興をはかるための経費、4千717万1千円と、亀山公園の整備、スキー場の整備など観光事業費の452万5千円です。

新議長に野尻源氏 副議長に安間政雄氏を選任

9月市議会の最終日(28日)に、上程された41議案を可決された後、中山利夫議長、土屋栄副議長が辞任されたので、後任議長に野尻源氏(66)副議長に安間政雄氏(62)がそれぞれ満場一致で選任されました。(写真左は野尻源議長、右は安間政雄副議長)



特別会計予算 8千777万1千円

ロ、農林費 4千608万6千円

病虫害の空中防除費951万5千円をはじめ農業構造改善事業費340万円、酪農振興、牧野造成、農産物流通改善対策費など農業経営改善対策費260万8千円と、土地改良事業、耕地災害復旧費など、2千941万円、農業委員会費の591万1千円です。

ハ、農場費 872万4千円

これは、水稲、園芸などの諸試作費100万円、畜産費54万円、実験室 移転費150万円などです。

ニ、林業費 1千664万5千円

これは、林道開設のための費用、林道の維持費と災害復旧費の1千228万4千円をはじめ市有林造成費の262万8千円、造林補助など林業振興費の159万3千円です。

9. 財産費 106万2千円

これは市有財産の管理費用です。

10. 統計調査費 34万円

農林水産統計調査など、各種統計調査員の報酬が主なものです。

11. 選挙費 158万4千円

これは、参議員、市長、市会議員選挙の費用です。

12. 公債費 3千620万7千円

これは、市債の元利償還と一時借入金

13. 賄支出金 3千335万3千円

これは、事務委託員、納税組合関係などの負担金と特別会計への繰入金金

14. 予備費 100万円

歳出合計 6億5千469万3千円

国民健康保険会計	5千829万3千円
直営診療所会計	409万9千円
簡易水道会計	211万3千円
土地区画整理事業会計	1千876万8千円
就学奨励事業会計	18万円
児童厚生事業会計	1万7千円
苗畑事業会計	329万4千円
公団分取造林事業会計	106万7千円

清掃夫を募集

市内の清掃行政を強化するためのとおり清掃夫を募集します

- 募集人員 4名(うち1名は大型自動車運転免許を持つ者)
- 資格 40歳未満の身心ともに強健な男子、学歴は問いません。
- 業務内容 市内のごみ収集
- 給料 月額8,000円以上、他に手当を支給
- 申込期限 4月1日~4月15日
- 申込場所 市役所内総務課

(緑の羽根の募金にご協力)

4月1日 ~ 30日



▼福井県警本
部防犯課から出
ている「映像一
による」と、昭和
三十六年におけ
る刑法犯の発生概況からいろいろ
教えられるものがあるから、その
要約を付記すると次のとおりであ
る。▼①従来、停滞気味であった
刑法犯の発生は、十一年ぶりに七
千件台を突破し、増加の徴候を示
した。②昭和二十三年当時、千
のうすかつた業務上過失致死傷
罪は、交通事故の増発に比例し、
今や、ひ(ひ)のあたる犯罪とな
り、当時の二十九倍に達し、犯罪
がせにできない問題となりつつあ
る。③強かん罪の発生は、住年の
強盗罪に次ぎ、凶悪犯の主力的
犯罪となり、戦後最高となった。④
少年(十四歳~二十歳)は犯罪
のちよう児となり、その構成比は
三十二%と戦後最高の比率を示し
た。それも凶悪、粗暴な犯罪に
集中し、強盗、強かん罪に占める
構成比はその半数に達している。
⑤粗暴犯の発生は直線の上昇を示
し、暴行、恐喝罪に占める少年被
疑者の構成比もまた第一位である
⑥強盗罪における少年被疑者の構
成比は四十一・三%で、かつてな
い高比率を示し、なかでも低年齢
少年への移行がいちおちである。⑦
交通機関の発達は犯罪をスピード
化し、地域的制限はなくなりつつ
ある。⑧グループを組む集団組織
犯が多く、また大規模な犯罪を重
ねるものが目立つてきた。以上で
あるが、これらを眺めると、いざ
かこわい気もする。しかし私たち
の手でこれを少なくしなければなら
ない。このし学を果立った中高
校卒業生のいわゆる純粋な社会道
義をうたてていく。固い決意で
卒業証書を手にした。これを迎え
る社会の人たちに、暖かい愛情と
心からの導を期待したい。

〔議案説明〕

市民税の税率引き下げなど

△市税の賦課徴収条例の一部改正について

改正されたおもな点は次のとおり。
1.これまで合算課税であった山林所得退職所得が分離課税となつたこと。
2.青色専従者には800円、白色専従者には500円の税額控除が新しくできたこと。

3.これまで任意であつた市民税の申告が、申告制度に義務づけられたこと

4.市民税の税率が0.3パーセント引き下げられたこと。税率は次のとおり

Table with 2 columns: Amount (金額) and Rate (百分の). Rows include 5万円以下, 5万円を超える, 15万円を超える, etc.

70万円を超える金額 百分の9.7
100万円を超える金額 百分の10.0

5.これまで900円であつた扶養控除、障害者・高齢者控除が400円に引き上げられたこと。

△簡易水道事業会計の追加更正予算について

木本簡易水道の災害復旧費として12万9千円が追加され、予算総額299万6千円となりました。

△基本財産の報告について

97年2月末現在で、母子家庭生徒就学奨励事業資金は255万5千599円、児童生徒厚生事業資金は24万7千675円です。

△一般会計一時借入金について

97年度の資金繰りにあてため、1億円以内を日歩2銭4厘以内で大蔵省、郵政省、銀行、大野借入金庫から一時借り入れる

国民健康保険、駅東区画整理事業の資金繰りとして1千万円以内を一般会計と同じ方法で一時的借入れをする。

△市職員の定数条例の一部改正について

こんどの地方税法の改正によつて税務事務量の増加と、庁舎、し尿処理場の建設、汚物処理施設の拡充などにもなる新規採用、臨時の道路手、給食婦を職員定数にくり入れるため、市長事務局の職員を38名増して、244名とし、教育委員会事務局の職員を20名増して104名となりました。

△特別職の職員で非常勤のもの報酬および費用弁償に関する条例の一部改正について

選挙管理委員会、農業委員会など各種委員会の委員の報酬を日額、委員長会長は800円、委員は700円と決まりました。ただし議会選出の委員は400円、公民館運営審議会委員は300円です。

△市職員の退職手当に関する条例の一部改正について

こんどの恩給法の改正によつて市職員の退職手当の制度が、国家公務員に

準じて改正されました。

△国民健康保険税条例の一部改正について

所得割の課税標準を、市民税の規定による総所得・山林所得・退職所得の合計額とする

△清掃条例の一部改正について

ごみ収集の機能を充実するために、ごみ収集手数料が次のように改められました。

①清掃手数料

1.毎日一定量以上のごみを排出する業者には年額600円以上

2.建物の他の理由で一時的に多量のごみを排出する場合は、大型自動車1台について600円、小型1台について300円。

3.イヌ、ネコなどの屍体一頭について100円の手数料をそれぞれ徴収する

②くみ取り手数料

し尿のくみ取り手数料をおおけ196リットルにつき92円を徴収する。

③汚込み手数料

汚物処理を命じられた者が、市の施設または市が指定する場所に運搬、ま

たは処理する場合、普通荷車〜50円、小型貨物自動車〜150円、大型〜300円(それぞれ1台につき)

△市営火葬場使用条例の一部改正について

4月1日から死産、流産児および胎盤1個について900円の火葬料を徴収。

△火災予防条例の制定について

消防法の改正によつて、火災予防に関して一般と強化されたので、これまでの条例を廃止、新たにこまかく規定されました。

△大野市幼稚園の設置および保育料の徴収条例の制定について

こんど新しく伏石、稲郷に市立幼稚園が設置されることになりました。この幼稚園の入園資格は小学校入学前1年の児童で、定数は伏石が40名、稲郷が80名です。保育料は毎月400円、入園料300円です。

△起債および償還方法について

次の事業費にあてため、簡易保険局、財務部および農協から起債をすることになりました。

1.簡易保険局から都市計画事業費とし

て100万円、尚徳中学校建設費として490万円、有終中学校増築費として100万円

2.財務部からし尿処理場の建設費として600万円

3.上庄農協から、上庄中学校増築費として60万円。富田農協から、尚徳中学校建設費として650万円

△継続費の年率および支出方法について

市庁舎建設費として97年度に6千万円を支出する計画が、8千400万円に変更されました。

△市立病院建設審議会委員の任命について

前任者の任期満了により次の20名の方が任命されました。

△議会代表10名
石田政治、備山静、林達也、南部小右衛門、稲津忠右衛門、安土義雄、砂子貞吉、杉川三助、土屋栄、加藤哲次郎。

△医師会代表4名
尾崎清治、白井泰蔵、岩田勇一、松田彦治

△学識経験者6名
森島開造、鮎川正、松島清、南正雄、橋本祝男、大野保健所長

△人権擁護委員の選任について
昨年なくなられた松田庄一氏の後任に富島の棟朝高氏(71)が人権擁護委員に選任されました。

△市農政審議会の制定について

農業の近代化と農業行政の円滑化をはかるため、市長の諮問機関として市議会、農業委員会、農業団体、学識経験者など20名が重要事項を調査審議することになりました。

△予算外義務負担について

龍仙橋、横枕橋など10カ所の災害復旧を促進するため、999万9千974円の子算外義務負担をします。

△昭和36年、37年度追加更正予算

これは96年度で施行できなかった事業繰越分です。

△阪谷中学校校舎の転用について

4月1日から統合される阪谷中学校校舎を同小学校に転用、実質はこれまでと変わりません。

生命の尊重と産業の伸展を願い、安全都市宣言、

近年、産業経済の成長と生活文化の向上はめざましいものがあるが、半面産業災害、交通事故、学校および家庭における災害火災の発生などは年々増える傾向にある。



総合開発事業の実施にもなる市内産業界の画期的進展は、さらに各種災害を誘発することが予測されるので、われわれは市民の生命尊重と、産業文化の伸展を図る理念のもとに、進んで各種災害を防止するための全市民的な運動を展開して、市民の安全意識の高揚をはかる必要性を痛感するものである。

よつてわれわれは、本市における各界安全組織の有機な連携のもとに、市民生活のあらゆる面において安全を確

保し、明るい住みよい都市の建設を目指して、ここに大野市を「安全都市」とすることを宣言する。
昭和97年9月28日
大野市
(写真は神明区に安置された交通安全地蔵)

狂犬病予防注射

Table with 2 columns: Date (日時) and Location (及び場所). Lists dates from 4/5 to 4/16 and locations like 小山地区, 乾側地区, etc.

Table with 2 columns: Time (時間) and Location (場所). Lists times like 9時半~11時 and locations like 上打波農協前, etc.

Table with 2 columns: Fee (手数料) and Amount (金額). Lists fees for dog registration, vaccination, etc.

成人者は755名

若人の代表 堅い決意表明

若人755名の前途を祝福する市の成人式は、9月15日有終中学校講堂で当日の出席者450名と来賓多数を迎えて盛大におこなわれました。

森広市長から記念品が贈られたあと白井市教育委員長から「今後皆さんの進まれる道は多事多難でありますがいかなる困難にも打ち勝ち、常に世の中のルールに従つて義務をまっとうし希望を持つて生き抜かれない」と激励があり、成人者を代表して土蔵好典君は「私たち若人は、あくまでも正しい社会を打ち立てるための原動力にならねばならないと堅く決心しております」と答えました。



(写真は答辞をのべる土蔵さん)

消防士募集

- 1.募集人員 4名
2.資格 イ、18歳〜25歳未満で心身ともに健康(身長160センチ、体重52キロ、視力0.7以上)で市街地に居住できる者

- ロ、高校卒業程度の学力を有する者
3.受け付期間 4月1日〜15日まで
4.試験 4月29日
筆記試験(国語、社会、理科、作文)
5.申し込み 市消防署、な

小さい火の気が 大火のもと!

これからは空気が乾いて強い風が吹く季節です。また暖かくなって家をやすしたり、自然と火気の取扱いに不注意になりがちです。小さな火の気が大火のもとですから、各家庭が次のことに気をつけましょう。
①家の中をいつも整理、整頓しておく
②油脂類の取扱いは、とくに気をつけ、貯蔵は安全な所へ。
③電気製品の使用には正しい知識をも

- ちましょう。
④台所などの用材には、できる限り不燃性の材料をとり入れましょう。
なお4月1日から7日まで、毎日午前10時と午後10時の2回、火の用心を呼びかけるサイレンが鳴ります。

キャッチフレーズ募集

大野市防火協力会では一般市民の防火思想の普及高揚と消防予防行政の推進をはかるため火災予防に関するキャッチフレーズを募集しています。
①締切は昭和97年4月15日
②区分は「成人向」「学生向」「子供向」にする
③1人5句以内、官製はがきで
④送り先は大野市消防署あて
⑤内容は新鮮な表現で日常生活にとけこみわかり易く、できるだけ短かなもの
⑥賞金賞状
イ.特選1篇 2,000円
ロ.入選2篇 1篇につき1,000円
ハ.佳作3篇 記念品
以上はいずれも福井新聞社より賞状と記念メダル、防火協力会より賞状が贈られます。(大野市消防署、福井新聞社後援)